

# 行財政改革推進委員会発足の経緯

## R2.6 令和3年度予算削減庁内プロジェクト発足

社総交等の大型事業が重なったことも起因し、多額の財政調整基金繰入が続いた。そして、平成29年度まで8億円前後をキープしていた財調残高が令和2年度6月補正予算時点で1億円を切る事態となる。そこで取り急ぎR3年度予算での財政調整基金の取り崩しを最小限にとどめるため、庁内プロジェクトを発足し予算削減案を練る。

## R2.9 議会全員協議会へ削減案を説明

庁内プロジェクトによって作成した各種事業の予算削減案を議会へ説明。以降、議会との協議を経て、削減案を修正する。

## R2.11 第1回町民説明会を実施

町の現在の財政状況及び、削減案のうち町民生活に関連する施策について町民に説明。2日間開催し延べ138人の参加があった。

## R2.12 議会から要請書の提出

要請書の中で行政改革のための委員会を立ち上げ、踏み込んだ行政改革を実施することに言及。

## R2.12～R3.1 パブリックコメント実施

削減内容について広く町民の皆さんから意見を求めるためパブリックコメントを実施。27名117件の意見を受け、2事業の削減を取り止め505万円を復活させる。行革委員会の設立の意見もあり。

## R3.2 第2回町民説明会を実施

パブリックコメントの結果、財政シミュレーション、今後の方針などを説明。2日間開催し延べ96人の参加があった。行革委員会の実施についても約束する。

## R3.3 3月議会定例会において「池田町行財政改革推進委員会設置条例」を制定

社会経済情勢の変化及び持続可能な地域社会に対応した効率的な町政を推進するため委員会設置の議案を上程。議案可決を受け、公募委員の募集等を行う。

## R3.5 第1回池田町行財政改革推進委員会開催

委員10人で協議を開始する。(任期：令和5年3月31日まで)